

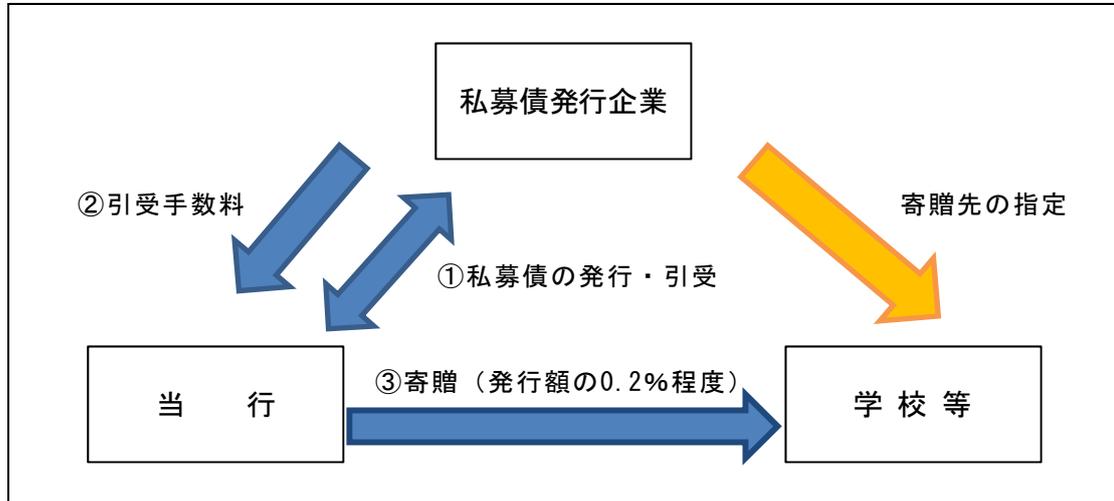
2018年3月14日

寄付型私募債受託に伴う武蔵野銀行との共同寄贈について**～「千葉・武蔵野アライアンス」提携施策～**

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）と武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、寄付型私募債の受託に伴い、2018年3月14日（水）、発行企業のヤマギシリフォーム工業株式会社（代表取締役 山岸 大輔、以下「ヤマギシリフォーム」）が指定した学校法人千葉工業大学（理事長 瀬戸熊 修、以下「千葉工業大学」）に対し、デジタルホワイトボードを寄贈しました。

寄付型私募債とは、地域社会への貢献などを目的として、一般に銀行が私募債発行企業から受け取る引受手数料の一部で、発行企業が指定する学校や自治体などに金銭の寄付または物品の寄贈を行う仕組みの商品で、当行は「地方創生私募債（みらいはぐくみ債）」、武蔵野銀行は「むさしのCSR私募債（みらいのちから）」の名称で取扱いをしています。

このほど「千葉・武蔵野アライアンス」による連携した営業活動の成果として、両行はそれぞれヤマギシリフォームより寄付型私募債を受託し、同社の要望に基づき、千葉工業大学へデジタルホワイトボードを寄贈することとなったものです。

【「地方創生私募債（みらいはぐくみ債）」スキーム図】

両行は、今後も地域のお客さまの利便性向上や地域社会のさらなる発展のため、幅広く提携施策を検討し、スピード感をもって実行に移してまいります。

以上